第77回 理事会(平成15年度第7回)議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時: 平成16年3月31日(水) 19:00~20:30
2. 場 所: 神奈川県社会福祉会館 4階第4研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事: (副会長) 廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄
(専務理事) 山田 隆
(常務理事) 片 忠夫、渡辺 三郎、越前谷 芳隆
(理事) 早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、
徳本 進、長久保 巖、木村 徳善、菊地 勇二、栗田 謙悟、
平沢 幸一
欠席理事: (会 長) 河野 洋平
(常務理事) 菊地 富士夫
(理 事) 堀 祐樹、斎藤 幸雄、岡本 洋一、清水 忠、本宮 敏宏
4. 出席監事: 井駒 利一
欠席監事: 徳田 盾夫
5. 議長選出: 山田 隆専務理事を指名
6. 議事録署名人選出: 木村 徳善理事を選出
7. 書 記: 大井 智子広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

渡辺教育本部長より、別紙の通り下記行事についての報告がなされ、了承された。

- イ) 五竜行事 1月31日(土)~2月1日(日)
- ロ) 車山行事 2月13日(金)~15日(日)
- ハ) 五竜行事 2月21日(土)~22日(日)
- ニ) 全日本スキー連盟 指導員検定会 2月27日(金)~29日(日)(朝里川、尾瀬岩鞍会場)
SAK 受検者55名 合格者29名
- ホ) 車山行事 3月5日(金)~7日(日)
準指導員検定会175名...合格者84名(対申し込み者数合格率44.4%)
- ヘ) 第41回全日本スキー技術選手権大会 3月10日(水)~14日(日)(八方尾根スキー場)
SAK 準決勝進出者2名(佐藤拓也、武田真樹)
- ト) 第3回環富士山スキー技術選手権大会 3月20日(土)~21日(日)(白馬五竜スキー場)
参加者287名
- チ) 車山行事 3月27日(土)~28日(日)
教育物品販売について
渡辺教育本部長より、販売金額332万4000円、収入金額79万1100円と報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

ナショナルデモンストレーター選考会について

渡辺教育本部長より、ナショナルデモンストレーター選考会(4月5日~8日、北海道ルスツリゾート)に佐藤拓也選手を派遣することについての提案があり、選手交通費の追加支出を含めて承認された。

山田隆専務理事より、2年に1度の選考会ということもあり北海道まで選手を派遣するための予算措置がとられていなかった件について、教育本部で管理を徹底するよう要望が出された。

SAJ デモンストレーター選考会について

渡辺教育本部長より、SAJ デモンストレーター選考会(4月13日~15日、尾瀬岩鞍)に佐藤拓也選手と翠川和也選手を派遣することについての提案がなされ、承認された。

山田専務理事より、生活態度について問題のある選手もいるため、指導を徹底するよう要望が出された。

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

平沢理事より、別紙の通り下記行事についての報告がなされ、了承された。

イ) ノルディック部

・ノルディック国体事前合宿 2月6日(土)~8日(月)(妙高高原スキー場)

ロ) アルペン部

・チャレンジカップ第2戦岩岳大会 1月30日(金)~2月1日(日)

・アルペン県選手権大会 3月5日(金)~7日(日)(上越国際スキー場) 選手550名

ハ) その他

・国体 2月21日(日)~24日(火)(山形県もがみ国体) SAK選手35名

入賞者 成年男子B 7位 下村泰則、成年男子C 9位 北野教正(順位繰上げ配点)

・県総体 2月27日(金)~29日(日)(白馬五竜スキー場)

その他

栗田理事より、県選手権大会出場者からのクレーム発生の件が報告がなされ、了承された。

3月6日の県選手権大会でのSL1本目の競技中、ケガ人が発生した。当人は、傾いたポールに指が当たって左手親指を剥離骨折したと主張。当人は競技を続行し、SLの2本目を滑り優勝した。大会終了後に本部にクレームを申し出た。これについて、3月22日に競技本部関係者で協議を行ない、「大会運営に問題はなかった」との結論に達した。別紙のように、菊地富士夫競技本部長名で、該当選手からのメールによる問い合わせについて回答したが、再度本人から問い合わせがあった。

山田専務理事より、SAK顧問弁護士に相談しながら事実関係を整理して再度回答し、来期以降、保険の加入を検討するなど最善をつくすことへの提案が行われ、了承された。

(2) 審議事項

歩くスキー執行費追加について

平沢理事より、4月3日(土)~4日(日)に行われる「歩くスキー」の参加役員の会費負担について7万円から9万円に引き上げてほしいとの要望があり、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

片常務理事より、常務理事の片忠夫氏ご母堂ご逝去にかかわる報告がなされ、了承された。

資金運用状況について

上田理事より、2月末の運用金残高が1690万1218円で、昨年同時期は1600万強と同額で推移しているとの報告があり、了承された。さらに各理事へのお願いとして、来期の予算計画を行なうので、行事報告書を早目に提出してくださいとの要望があった。

登録状況について

柴田理事より、2月25日までの登録者数の合計は6471名で、昨年度末の6654名と比べ183名減少したが、現在、追加登録の動きがあり、最終的な減少は140名程と見込まれるとの報告がなされ、了承された。

ハンディキャップ委員会

越前谷常務理事より、今年度はスポーツ振興くじ(toto)助成金を、五竜と車山でのスキー教室、岩岳チャレンジカップの3回受けて、計63名の参加があった。来年はtotoの助成金制度がなくなるため、ヤマト運輸や夢国体などに助成金申請をしており、SAK会員への寄付金要請を含めて検討したいと報告があり、了承された。

広報委員会

徳本理事より、SAKだより第47号発行に向けた活動状況の報告がなされ、了承された。

スノーボード委員会

百海理事より、4月に栄倶楽部で行われる予定の大会に、申し込み締め切り前日の3月25日

時点で3人の申込みしかなかったため、行事を中止にしたとの報告がなされ、了承された。山田専務理事より、ボードとパトロールへの提案だが、来年度はスノーボードを競技会は競技本部に、資格制度は教育本部に移す予定。そしてパトロール委員会は教育本部の傘下に置くので、SAKの一員であるとの認識を一層促すよう指導してほしいとの要望が出された。

事務検査について

片常務理事より、4～5年に1回行われる神奈川県教育庁の事務検査があり、結果は概ね良好であるが、別紙の8項目の口頭指導事項があったとの報告がなされ、それぞれ責任者を決め対応中であり、了承された。

(2) 審議事項

第1号議案 次期役員の役選委員会からの答申書内容承認について

片常務理事より、別紙のとおり答申書の報告があり、これを春季評議員会の議案に提出することの提案がなされ、承認された。

第2号議案 次期役員会長推薦理事について

片常務理事より、4名という理事の会長推薦枠について考え方を決めていただきたい。最終的には常務理事以上で決めさせてほしいこと。また山田専務理事より、各ブロックからの要望は聞いているが、「横浜スキー協会は指導員登録人数が全体の半分以上多い割に理事枠が少ない」との声があるので考慮してほしいとの意見が出され、常務理事以上で協議して決定することで承認された。

第3号議案 海外出張指導員の研修会費用免除について

長久保理事より、本年度、川崎市教育文化会館での理論研修会にてパナソニック横浜スキー部から3名の「研修会費用免除願い」が提出されているとの報告があり、審議の上、承認された。

4) その他

スキー界事情について

片常務理事より、「スキー人口がピーク時の6割に減」との別紙サンケイ新聞の記事コピーが提出された。8000人だったSAKの登録も7割まで落ちているので、どのような手を打てばいいか、来年度事業計画を立てるときの参考にしてほしいとの要望があった。

評議員会資料作成について

平沢理事より、春季評議員会資料の各部原案作成日程指示の確認があり、本田理事より資料作成に向けての日程表を各理事宛に送付するとの回答があった。

2004 SAK フランス・スキーツアーについて

山田専務理事より、16日(火)～24日(水)に海外スキーツアーに参加しました。シャモニー、ツェルマット、クールマイヨールの各スキー場では、ボーダーは2～3%でスキーヤーに戻った状況である。ボードの凋落傾向が出ており、若いスキーヤーが多くなったとの報告があり、了承された。

井駒監事からコメント

車山 行事で準指検定会と並行してスノーボードSAJ準指検定会が行われていたが、望月委員長を中心に実施していたが、SAKの担当理事がついていない様子だった。来年度からは、スノーボード検定会の責任者として理事を当てることを検討してほしいとの要望があった。

平沢理事からコメント

競技本部の最後の行事として5月16日にクラブ対抗駅伝大会を行う。各クラブ、各協会にチームをつくるよう依頼するが、SAK各部や専門委員・役員チームもつくるよう、ぜひ検討してほしいとの要望があった。

野地副会長のコメント

今年度行事はチャレンジカップ、クラブ対抗駅伝と、残り少ない。来期に向けての始動となり、評議員会も近づいている。スキー界の活性化、行事参加者や準指受検者の拡大などの課題が克服できるように、各部で新しい計画を練ってほしいとの要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 4月 12日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印